

国語表現

教科	国語	単位数	2	学科・学年	工業科3年生
使用教科書	「国語表現 改訂版」(教育出版)			副教材等	「パスポート国語必携」(桐原書店) 「常用漢字ワイドアルファ」(桐原書店)

◇ 学習の到達目標 ◇

- ①言葉で適切に表現する力を養います。
- ②表現する喜びを味わい、充実した社会生活を送る力を身に付けます。
- ③朝学習R-timeを通して、漢字力の向上を目指します。

◇ 科目の特色 ◇

「国語総合」の学習で国語の基礎的な力を身に付けました。「国語表現」では、その中でも特に表現分野の「話す、聞く、書く」という力を伸ばします。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4 5 6	1. コミュニケーションのために 2. 文章表現の基礎 3. 声の表現 (表現1～9・国語常識基本1～10)	・文章の整え方を身に付ける。 ・「高校生活で得たもの」という600字の作文を書く。 ・漢字の読み書き・ことばの使い方・常識を身につける。 【前期中間考査】
7 8 9	4. 人とつながる言葉 5. 面接 (国語常識基本11～15・発展1～15) (常用漢字の学習 4級)	・履歴書を作成する。 ・「自己アピール」という600字の作文を書く。 ・「社会人としての心構え」という600字の作文を書く。 ・入社試験・入学試験に備え800字の「志望動機」を書く。 ・漢字の読み書き・ことばの使い方・常識を身につける。 【前期期末考査】
10 11 12	6. 言葉を届ける 7. 小論文Ⅰ (常用漢字の学習 3級)	・文例を参考に礼状を書く。 ・文例を参考に年賀状を書く。 ・常用漢字の読み書きに慣れ、漢字検定3級合格を目指す。 【後期中間考査】
1 2	8. 小論文Ⅱ (常用漢字の学習 準2級・2級)	・課題作品を4000字で書き相互評価を行う。 ・常用漢字の読み書きに慣れ、漢字検定準2級・2級の合格を目指す。 【後期期末考査】

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心や理解を深めようとしているか。 国語を尊重して、その向上を図ろうとする意欲が感じられるか。
話すこと・聞くこと	話し手の意見や発表を的確に聞き取ることができるか。 自分の考えをまとめ、目的や場面に応じて筋道立てて話すことができるか。
書くこと	自分の考えをまとめ、筋道立てて書くことができるか。 目的や相手に応じて適切な文章を書くことができるか。
知識・理解	語句の意味を理解し、語彙を豊かにすることができるか。 古文や漢文を読み味わうための決まりを理解することができるか。

このため、具体的には次のものを対象とします。

- ①授業中の学習態度
- ②発表時の評価表
- ③作文やレポートなどの提出物
- ④課題及び課題テスト
- ⑤定期考査・漢字テスト

また一年間の評定については、前期・後期の年間を通して、上記を総合的に判断して決めます。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

表現の学習をしながら、同時に入社試験や入学試験に実際に役立つ学習を行っていきますので、進路実現に向けて共に頑張りましょう。

日本史 A

教科	地理歴史	単位数	2	学科・学年	工業科 3 年生
使用教科書	「現代の日本史 A」(山川出版社)		副教材等	「図説日本史通覧」(帝国書院)	

◇ 学習の到達目標 ◇

日本の歴史の展開を近代社会が成立し発展する過程に重点を置いて考察します。そして、諸外国との関係、経済・文化の接触・交流や地理的条件などと関連づけ、世界の中の日本という視点から理解します。

◇ 科目の特色 ◇

基礎的な歴史的事項の理解のみならず、その歴史的事項を同時代の国際社会の動向などと関連させながら、グローバルな視点からその原因や経過・影響を考察していくことが学習の重要な要素です。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4 6	1. 開国と維新 2. 近代国家の形成と発展	・開国と明治維新の流れを確認し、近代日本の基礎形成のために明治政府が実施した諸政策や国際関係の構築、政治行動の内容を理解する。 【前期中間考査】
7 9	3. 産業化の推進と国民生活の変化 4. 第一次世界大戦と大正デモクラシー	・産業化の推進と列強の一員となったことによる国内状況と国際関係の変化を理解し、その功罪を考察する。 【前期期末考査】
10 12	5. 第二次世界大戦と日本 6. 占領下の日本	・世界恐慌による国際関係や国内状況の変化から第二次世界大戦へと進んでいった経緯を考察し、戦後行われた民主化改革の意味を理解する。 【後期中間考査】
1 2	7. 日本の自立と経済成長 8. 現代の世界と日本	・国際舞台へ復帰した日本が行ってきた国際政治や経済政策を理解し、多極化する国際社会で多くの課題を抱える日本がどう歩んでいくべきかを考察する。 【後期期末考査】

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	近現代史を中心とする日本の歴史の展開に関心・課題意識を高め、意欲的に追究しようとしているか。
思考・判断・表現	日本の歴史の展開から課題を見つけ、多面的・多角的・論理的に考察しようとしているか。
資料活用 of 技能	提示したデータを的確に読み取り、分かりやすく表現することができるか。さまざまな資料を活用し、的確に考察できるか。
知識・理解	近現代史について、国際環境などと関連付けながら理解し、その知識を身に付けているか。

このため、具体的には次のものを対象とします。

- ① 定期考査 ② 授業で活用するプリント、ノートなどの提出物の内容
- ③ 長期休業に提示される主題学習(課題追究学習)のレポートや課題
- ④ 学習活動の参加状況(授業中の態度・発言内容、作業への取り組みなど)

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

「歴史に興味・関心が持てる」を授業の第一目標に置きます。歴史が苦手でも、気がついたら歴史が好きになっていた、そういう授業をみなさんと作っていきましょう。

数学A

教科	数学	単位数	2	学科・学年	工業科3年生（選択者）
使用教科書	「新編 数学A」（数研出版）			副教材等	基本と演習テーマ 数学A

◇ 学習の到達目標 ◇

- ① 「場合の数と確率」 場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。
- ② 「整数の性質」 整数の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。
- ③ 「図形の性質」 平面図形や空間図形の性質について理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。
- ④ 朝学習R-timeを通して基礎・基本の定着を図るとともに、計算力の向上を目指す。

◇ 科目の特色 ◇

「数学A」は、具体的な事象を数学的に処理するための基礎を身に付ける科目です。「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」など基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、処理する能力を身に付けます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 6	1章 「場合の数と確率」 1節 場合の数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集合に関する基本的な事柄、記号を理解する。 ・ 具体的な場面の考察を通して和・積の法則、順列、組合せの意味を理解し、場合の数を求める。 <p style="text-align: right;">【前期中間考査】</p>
7 9	2節 確率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試行や事象の考えを明確にして、確率の基本的な法則を理解し、確率を求める。 <p style="text-align: right;">【前期末考査】</p>
10 12	3章 「整数の性質」 1節 約数と倍数 2節 ユークリッドの互除法 3節 整数の性質の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約数や倍数に関する事象を論理的に考察し、整数の性質について理解を深める。 ・ ユークリッドの互除法を利用し、二つの整数の最大公約数を求める。 ・ 二進法などの仕組みや、分数が有限小数又は循環小数で表される仕組みを理解し、整数の性質を事象の考察に活用する。 <p style="text-align: right;">【後期中間考査】</p>
1 2	2章 「図形の性質」 1節 平面図形 2節 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重心、内心、外心などの性質を扱い、これらの図形の性質を図形の考察に活用する。 ・ 空間図形のいろいろな性質を見出し、それらが成り立つ理由を論理的に考察する。 <p style="text-align: right;">【学年末考査】</p>

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	論理性に満たないいろいろな考えに触れ、試行錯誤を繰り返しながら考えようとしているか。身近な事象を数学的にとらえ、積極的に数学を活用しようとしているか。
数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理の美しさや、見方や考え方の良さを認識し、自らの思考過程を振り返りながら発展的に考え、問題の本質を探ることができるか。
数学的な技能	数学的な見方や考え方を生かし、既習事項や公理・定義等を基にして問題を解決したり判断することができるか。
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けているか。

1年間の評定は、学習態度・ノート・提出物・定期考査などを総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

「数学的な見方」がより重要となる科目です。ポイントは「自分で計算式が立てられるかどうか」です。計算そのものは決して難しくありません。苦手意識を持たず、演習を増やして理解を深めましょう。

数学Ⅱ

教科	数学	単位数	2	学科・学年	工業科3年生
使用教科書	「最新 数学Ⅱ」(数研出版)			副教材等	ステージノート 数学Ⅱ

◇ 学習の到達目標 ◇

- ① 「指数関数・対数関数」について考察し、関数の理解を深めます。
- ② 「微分・積分」に関して基本的な知識・技能を身に付け、関数の値の変化を調べ、面積を求めます。
- ③ 三角関数、指数関数、対数関数の微分について基本的な知識・技能を身に付け、導関数を求めます。
- ④ 朝学習 R-time を通して基礎・基本の定着を図るとともに、計算力の向上を目指す。

◇ 科目の特色 ◇

「微分・積分」は関数についての理解をさらに深くし、これまで求められなかった図形の面積などを求められるようにします。更に、「数学Ⅱ」の内容を発展、拡充させ、三角関数、指数関数、対数関数についての微分法を学習します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 6	2章 「図形と方程式」 2節 円の方程式 3節 軌跡と領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 円を表す方程式をたてられるように、また、方程式から中心や半径を求められるようにする。 ・ 不等式が表す領域を図示する <p style="text-align: right;">【前期中間考査】</p>
7 9	5章 「微分法と積分法」 1節 微分係数と導関数 2節 微分法の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 微分係数・導関数の意味を理解し、関数の微分を行う。 ・ 導関数と関数の増加・減少の関係を理解し、グラフをかく。 <p style="text-align: right;">【前期末考査】</p>
10 12	3節 積分法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不定積分・定積分の意味を理解し、計算する。 ・ 定積分を用いて、図形の面積を求める。 <p style="text-align: right;">【後期中間考査】</p>
1 2	補足 3章「微分」(発展学習) 1節 微分法 2節 いろいろな関数の導関数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角関数・対数関数・指数関数などの微分の意味を理解し、微分をする。 ・ いろいろな関数について増減・凹凸を調べ、グラフをかく。 <p style="text-align: right;">【学年末考査】</p>

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	理論性のあるいろいろな考えに触れ、試行錯誤しながら考えようとしているか。身近な事象を数学化し、積極的に数学を活用しようとしているか。
数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理の美しさや、見方や考え方のよさを認識し、自らの思考過程を振り返りながら発展的に考え、問題の本質を探ることができるか。
数学的な技能	数学的な見方や考え方を生かし、既習事項や公理・定義等を基にして問題を解決したり判断したりすることができるか。
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けているか。

1年間の評定は、学習態度・ノート・提出物・定期考査などを総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

「微分・積分」は高校数学の華と言うべき単元です。高度な考え方を要求されますが、やるべきことは規則性に満ちています。高校3年間の数学の学習のまとめをしましょう。

化学基礎

教科	理科	単位数	2	学科・学年	工業科・商業科3年生
使用教科書	「改訂版 化学基礎」(数研出版)			副教材等	プリント等

◇ 学習の到達目標 ◇

化学と人間生活とのかかわりについて関心を高め、化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に果たしている役割を理解します。

◇ 科目の特色 ◇

「化学基礎」は身のまわりの物質について学ぶ科目です。観察、実験などを通して物質を探究する方法の基礎を学習する科目です。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4 6	1編「物質の構成と化学結合」 1章 物質の構成 2章 物質の構成粒子	・物質の分離・精製や元素の確認などの実験を通して単体・化合物及び粒子の熱運動と物質の三態について学習し、実験における基本操作を身に付ける。 【前期中間考査】
7 9	3章 粒子の結合 2編「物質の変化」 1章 物質と化学反応式	・原子の構造及び電子配置からイオン・共有結合を理解する。 ・観察・実験を通して化学結合と物質の性質を理解する。 【前期期末考査】
10 12	1章 物質と化学反応式	・化学反応の量的関係を化学反応式を利用して理解する。 【後期中間考査】
1 3	2章 酸と塩基 3章 酸化還元反応	・酸と塩基の反応及び酸化還元反応について観察・実験を通して探求し、日常生活や社会と関連付けて理解する。 【後期期末考査】

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けているか。
思考・判断・表現	化学的な事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断することができるか。
観察・実験の技能	化学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現することができるか。
知識・理解	観察、実験などを通して化学的な事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。

このため、具体的には次のものを対象とします。

- ①実験・観察で活用するプリント、レポート ②授業中における学習態度
③長期休業に出題される課題及び休業明けの課題テスト ④定期考査
⑤自己評価、授業評価の際に記入したプリント

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

「化学基礎」は基礎・基本を積み上げる科目です。毎回の授業を大切に、分からないことを次の授業にもち越さないようにして頑張りましょう。

物理

教科	工業	単位数	3	学科・学年	工業科3年生（選択）
使用教科書	改訂版 物理（数研出版）			副教材等	セミナー物理（第一学習社）

◇ 学習の到達目標 ◇

- ・物理的な事物・現象についての観察・実験を行うことにより自然に対する関心や探究心を高め、科学的な自然観をもてるようにします。
- ・朝学習を通して基礎・基本の定着を図り、問題を解く力を伸ばすことを目指す。

◇ 科目の特色 ◇

「物理」はさまざまな運動を考え、自然現象を支配している法則について学ぶ科目です。また物理を必要とする専門分野に進む生徒や、物理に強い興味・関心をもってさらに深く学習しようとする生徒が学習する科目です。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 6	1 編 力と運動 1章 平面内の運動 2章 剛体 3章 運動量の保存	・運動の表し方を科学的に考察し、公式を理解する。 ・状況を的確に理解し、応用ができるようにする。 ・物体のもつ運動量と力積の関係について理解する。 【前期中間考査】
7 9	4章 円運動と万有引力 2 編 熱と気体 1章 気体のエネルギーと状態変化	・円運動、万有引力とケプラーの法則を理解する。 ・温度と熱、熱運動などについて考える。 【前期期末考査】
10 12	3 編 波 1章 波の伝わり方 2章 音の伝わり方 3章 光 4 編 電気と磁気 1章 電場 2章 電流 3章 電流と磁場 4章 電磁誘導と電磁波	・波を表す一般的な公式や回折や屈折などの原理を理解する。 ・波としての音や光の様々な現象を理解する。 ・静電気の現象や電気の働き、電荷の流れを理解する。 ・電波の特徴や性質、情報通信の仕組みを理解する。 【後期中間考査】
1 2	5 編 原子 1章 電子と光 2章 原子と原子核	・電子や光の粒子性と波動性を理解する。 ・原子の構造や振る舞いなどを理解する。 【後期期末考査】

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	物理的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けているか。
思考・判断・表現	物理的な事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして問題を解決し、事実に基づいて科学的に判断することができるか。
実験・観察の技能	物理的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現することができるか。
知識・理解	観察、実験などを通して物理的な事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。

このため、具体的には次のものを対象とします。

- ①実験・観察で活用するプリント、レポート ②授業中における学習態度
③課題及び休業明けの課題テスト ④定期考査 ⑤自己評価、授業評価の際に記入したプリント
また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

「物理」は基礎・基本を積み上げる科目です。毎回の授業を大切にし、分からないことを次の授業に持ち越さないようにして頑張りましょう。

体育

教科	保健体育	単位数	3	学科・学年・コース	工業科3年生
使用教科書	最新高等保健体育・体育編（大修館書店）			副教材等	最新高等保健体育ノト（大修館書店）

◇ 学習の到達目標 ◇

- ①運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を身に付けます。
- ②自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫する力を身に付けます。
- ③各種の運動技能や体力を高める運動の合理的な仕方を身に付け、運動の技能や体力を向上させます。
- ④スポーツの意義や必要性を理解し、生涯を通して継続的に運動ができる資質や能力を身に付けます。

◇ 科目の特色 ◇

人間は生まれながらにして「活動」の欲求が備わっており、「運動」することで爽快な気分になり、思考力も高まります。この「動く楽しさ」に「分かる楽しさ（思考判断・知識理解）」「できる楽しさ（運動技能）」「仲間と関わる楽しさ（関心・意欲・態度）」が加わることで、運動の楽しさや喜びはさらに膨らみます。体育の授業では、運動を科学的に理解し実践することで、その楽しさを実感してください。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4	集団行動 体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・きびきびとした行動を習慣化し、学校生活に生かす。 ・集団の中の自分を意識することで、協力や責任などの態度を身に付ける。
5 7	【選択1】 バレーボール 硬式テニス	<ul style="list-style-type: none"> ・2種目から1つを選択し学習する。 ・基本技能を習得する。 ・ゲームの中で、チームワークの大切さや楽しさを経験する。
8 9	ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭で発表する伝統の「エッサッサ」の練習を通して、体力を培い、集団の美と迫力を表現する。
10 11	ソフトボール バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> ・2グループに分かれ、各単元を学習する。 ・各種目の集団的・個人的技能を身に付ける。 ・ゲームの中で、チームワークの大切さや楽しさを経験する。 ・基本技能を身に付け、チームの勝利に貢献する。
12 2	サッカー バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・種目を選択して学習する。 ・授業の自己課題を発見、解決していく中で仲間とともに工夫して練習やゲームを展開する。 ・基本技能を身に付け、チーム・ダブルスの勝利に貢献する。 ・グループノートを活用し、グループに必要な技術等を見出し、練習を通してチーム力を上げる。
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、スポーツの意義や歴史、文化的特徴、現代スポーツを取り巻く問題などについて学習する。

◇ 評価の観点（方法） ◇

評価は、次の4つの観点から行います。具体的な評価方法は（ ）の通りです。

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとし、公正・協力・責任などの態度が身に付いているか。（行動観察・グループノートの活用）
思考・判断	自己のグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫しているか。（行動観察・グループノートの活用・アンケートによる反省の活用）
運動の技能	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めているか。（行動観察・ゲーム、発表会の結果分析）
知識・理解	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基本的な事項を理解し、知識を身に付けているか。（行動観察・グループノートの活用）

◇ 担当者からのメッセージ ◇

体育の授業では、何事にも積極的にに関わり、仲間との協調性を大切に、常に課題を見つけ、それを克服していく中で、新しい発見をしていって欲しいものです。その積み重ねが、運動技能や体力の向上にもつながり、「生涯スポーツ」に発展し、より「高次な楽しさ」を作り上げていくはずですよ。

コミュニケーション英語Ⅱ

教科	外国語	単位数	2	学科・学年	工業科3年生
使用教科書	「VISTA English Communication II」 New Edition (三省堂)			副教材等	・「VISTA English Communication II ワークブック」

◇ 学習の到達目標 ◇

英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。また、情報や考えなどを的確に理解して適切に伝える基礎的な能力を伸ばす。朝学習(R-time)で基本的な表現の定着を図る。

◇ 科目の特色 ◇

「コミュニケーション英語Ⅱ」では、各単元のトピックに合わせて精読や速読を通した英文理解を図るとともに、文法の復習やコミュニケーション活動を行う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4 6	Lesson 6 <i>Becoming the Best</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 錦織圭選手のインタビューからベストを尽くす秘訣を学ぶ。 ・ 使役・関係代名詞 what・疑問詞+to 不定詞について学ぶ ・ 音読などのコミュニケーション活動やペアワークを行う。 <p style="text-align: right;">【前期中間考査】</p>
7 9	Lesson 7 <i>The Galapagos Islands</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今ガラパゴス諸島に起こっている問題について知る。 ・ 現在完了進行形、形式目的語 it について学ぶ。 ・ 音読と会話を中心としたコミュニケーション活動を行う。 <p style="text-align: right;">【前期期末考査】</p>
10 12	Lesson 8 <i>Shodo, Old and New</i> Lesson 9 <i>Water World</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統文化や水族館の歴史について知る。 ・ 部分否定や関係代名詞の非制限用法について学ぶ。 ・ 音読を中心としたコミュニケーション活動を行う。 <p style="text-align: right;">【後期中間考査】</p>
1 3	Lesson 10 <i>A Long Friendship</i> I'm Afraid of Manju!	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本とトルコの友好関係について知る。 ・ 過去完了形、強調構文について学ぶ。 ・ 暗唱、会話を中心としたコミュニケーション活動を行う。 ・ 物語の全体の内容を把握する。 <p style="text-align: right;">【後期期末考査】</p>

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、仲間と話し合ったり意見の交換をしたりして積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。
外国語表現の能力	外国語で聞いたり読んだりしたものの概要や要点を聞き手に伝えるように音読したり、その内容について簡潔に書くことができるか。
外国語理解の能力	説明や物語、事物に関する紹介や対話などを外国語で聞いたり読んだりして、情報や考え、内容などを理解し、概要や要点をとらえることができるか。
言語や文化についての知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解しているか。

具体的には、次のものを対象とします。

- ①授業に取り組む姿勢(コミュニケーション活動を含む) ②定期考査(作文を含む)
 ②小テスト(英文の暗唱、単語・熟語の復習) ④ノート ⑤ワークブック
 ⑥授業で活用するプリント

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

コミュニケーション英語Ⅱでは、授業態度、定期考査、スピーチテストを含むパフォーマンステストで評定をつけます。自分の進路を拓くため、一生懸命授業に取り組みましょう。